

第2期蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について (令和4年度時点)

1 第2期蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

これまで、総合戦略は総合計画とは別々に策定されていましたが、第6次蘭越町総合計画から、同計画内の実行計画（重点施策）として、統合されました。

総合戦略は、人口減少対策や地域活性化を目的として、まちづくりに係る全ての分野から横断連携的な視点で施策を位置づけています。（第6次蘭越町総合計画P4～P5参照）

また、この度、同施策の進捗状況や達成状況の把握、見直しを行うため、取組期間3年目となりました令和4年度について、下記のとおり取りまとめました。

なお、同取組結果につきましては、令和6年3月21日（木）に開催しました「蘭越町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」にて、各委員より評価していただきました。

今後も同会議を通じ、総合戦略の達成状況や見直しを行い、町行政を推進してまいります。

2 戦略期間

令和2年度～令和6年度

3 重要業績評価指標（KPI）

全26項目

※第6次蘭越町総合計画P78～P92参照

4 目標を達成した指標（令和4年度時点）

13項目

5 目標が未達成の指標（令和4年度時点）

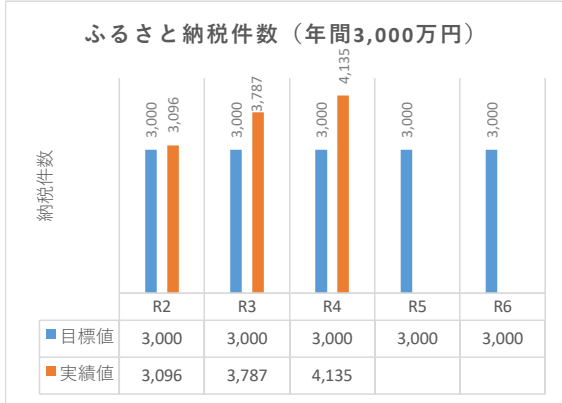
13項目

第2期蘭越町総合戦略取組結果（重要業績評価指標）

番号1

成果・実績等

目標達成



当初予算の目標に近い寄付金額を集めることができた。

達成

次年度以降

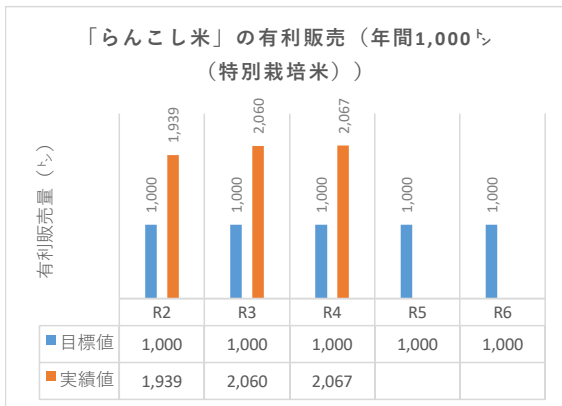
継続

【担当課 商工労働観光課】

番号2

成果・実績等

目標達成



水稲圃場ケイ酸資材投入事業として、高品質米の生産技術を促進するため、資材購入に係る費用助成を行った。

達成

次年度以降

継続

また、米-1グランプリの開催は、令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため無観客で実施し、「らんこし米」が準グランプリを獲得するなど、良食味米としての評価を得た。

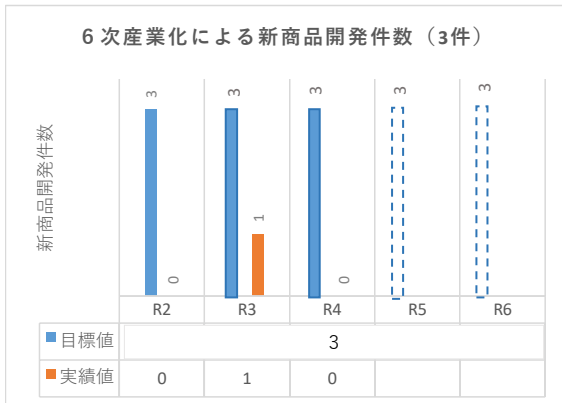
さらに、「らんこし米」のPRと販路拡大を目的に、大手旅行会社に普及事業業務の委託を実施した。

【担当課 農林水産課】

番号3

成果・実績等

目標達成



なし

未達成

次年度以降

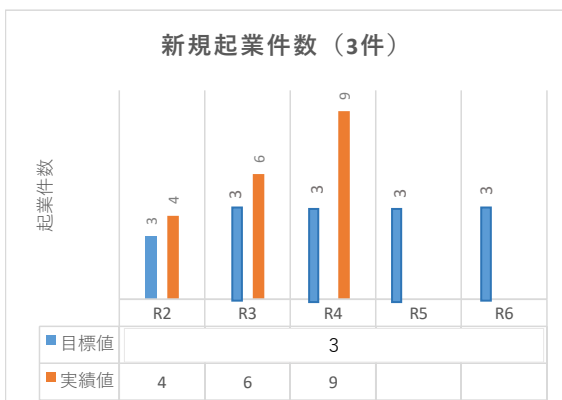
継続

【担当課 商工労働観光課、農林水産課】

番号4

成果・実績等

目標達成



令和4年度における当町への開業届の提出は9件であった。

達成

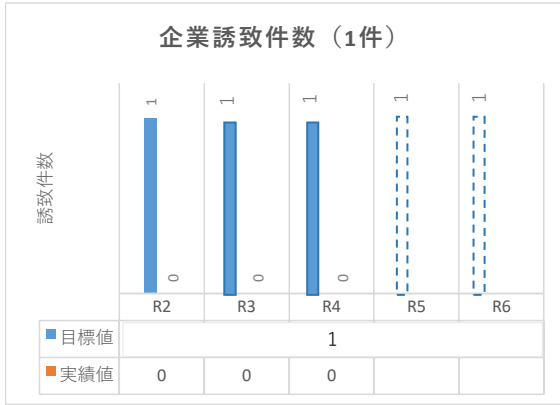
次年度以降

継続

コロナ禍により生活様式が変化し、ネット環境が整備されていれば、勤務地は問わない人がいることも事実であるため、R3年度にハード面での整備を実施し、町内のネット環境整備に注力した。

【担当課 総務課】

番号 5



成果・実績等

ニセコ観光圏という地理的優位性を活かし、宿泊業を営む事務所をはじめとした企業誘致を推進することとしているが、予算措置や事業化はされていない。このような状況であるものの、当町の遊休施設や空家等の活用情報の提供や、ネット環境の整備を実施した。

【担当課 総務課】

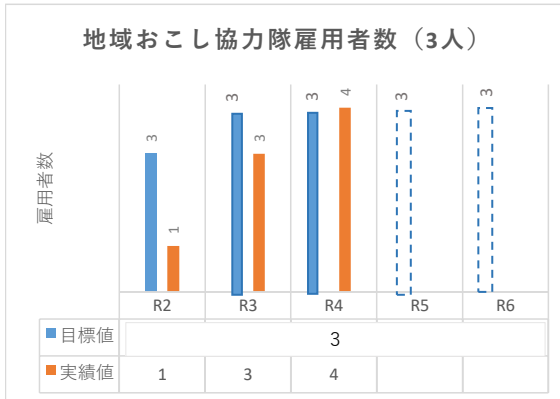
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号 6



成果・実績等

総務課
令和4年度は、令和2年度に採用となった定住支援員1名に、継続して移住相談や空家調査等に從事してもらった。

商工労働観光課
リンリン公園キャンプ場、加工センター、蘭越町商工会に其々1名づつ配置し、観光振興等業務に従事して頂いた。

【担当課 総務課、商工労働観光課】

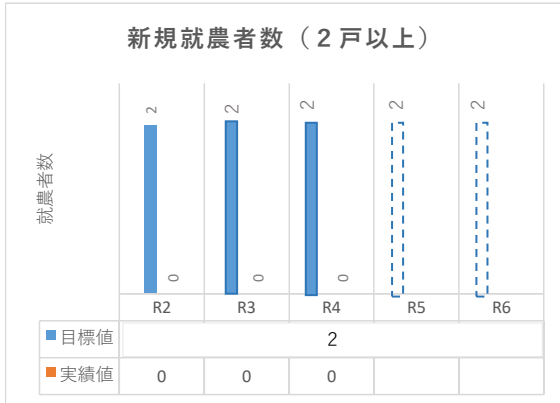
目標達成

達成

次年度以降

継続

番号 7



成果・実績等

新規就農者受け入れの募集について、町ホームページを通じ、また、地域おこし協力隊の協力を得て、周知に努めた。

また、新規就農フェアに参加し、トマト栽培による研修をPRし、7人の方に説明した。

【担当課 農林水産課】

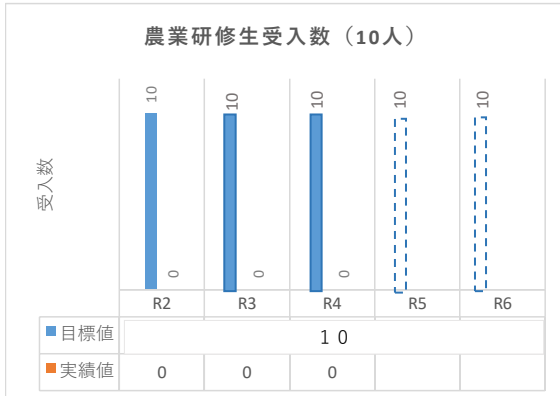
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号 8



成果・実績等

番号7と同様

【担当課 農林水産課】

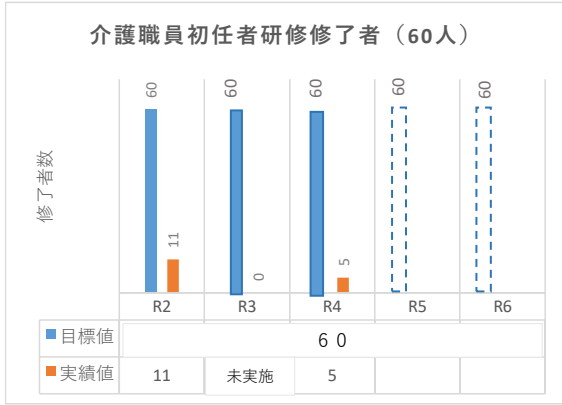
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号 9



成果・実績等

令和4年度から介護福祉士実務者研修に移行して実施。

目標達成

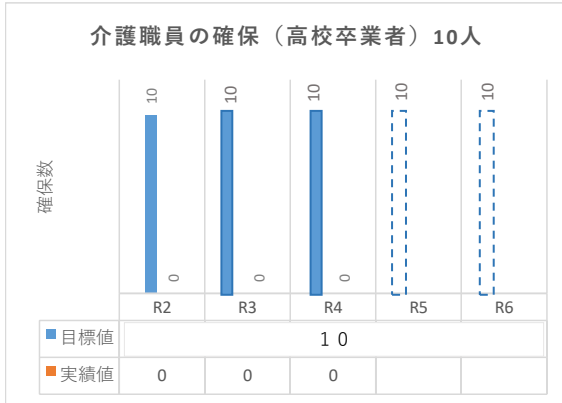
未達成

次年度以降

継続

【担当課 健康推進課】

番号 10



成果・実績等

高校卒業者の就労には至らないが、人材確保事業補助金を活用して、関係事業所における人材確保に繋がっている。

目標達成

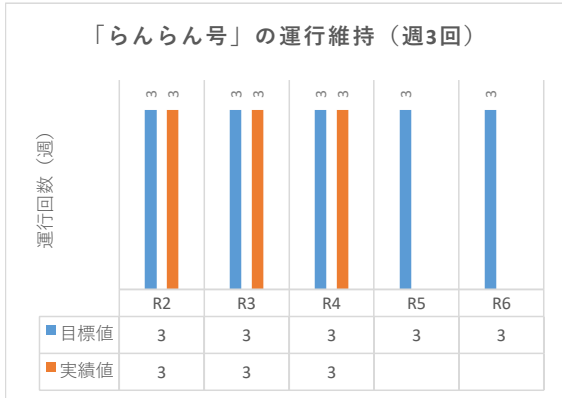
未達成

次年度以降

継続

【担当課 健康推進課】

番号 11



成果・実績等

町民の交通利便性の向上を図るべく、平成30年度より運行路線を週2便から週3便に増便した。

同年以降、週3便を維持することとし、J Rとの接続を可能とした時刻表に調整することで、利便性及び効率性の向上に努めている。

また、令和4年度より、町内の地域公共交通の在り方について検討すべく、北海道庁職員1名を出向職員として受け入れしている。

目標達成

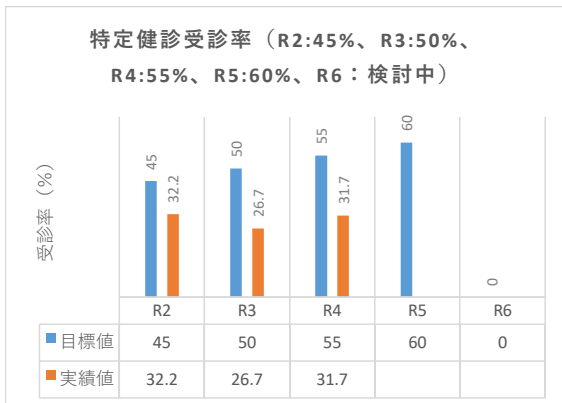
達成

次年度以降

継続

【担当課 総務課】

番号 12



成果・実績等

特定健診未受診者対策事業として、北海道と国民健康保険団体連合との共同事業である「人口知能を利用した未受診者に対する受診勧奨」に加え、蘭越町独自で電話での個別勧奨を実施したが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、冬のミニドッグが中止になった影響により、受診率が低下したが、令和4年度は感染症予防対策を行った上で、すべての日程を行えたこともあり、前年度より受診率が上昇している。

目標達成

未達成

次年度以降

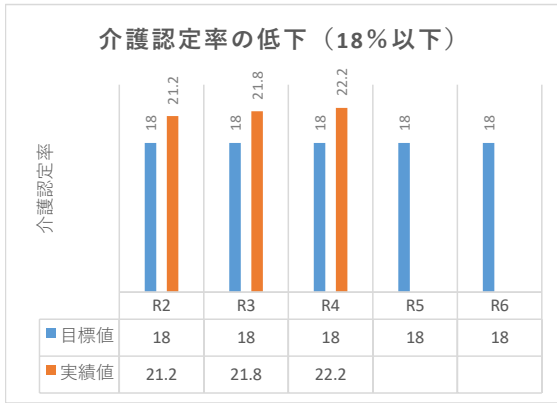
継続

【担当課 住民福祉課】

番号 13

成果・実績等

目標達成



なし。
高齢化とともに「今後必要となるかも」との
思いで介護認定を取っておこうと考える傾向が
増えつつある。

未達成

次年度以降

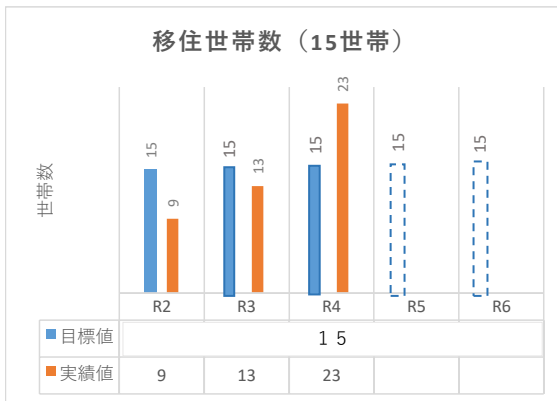
継続

【担当課 健康推進課】

番号 14

成果・実績等

目標達成



令和4年度に当町の移住相談窓口を利用し、
移住した世帯は23世帯42名であり、空家利
活用事業や公営住宅入居により、移住世帯確保
に繋がっている。

達成

次年度以降

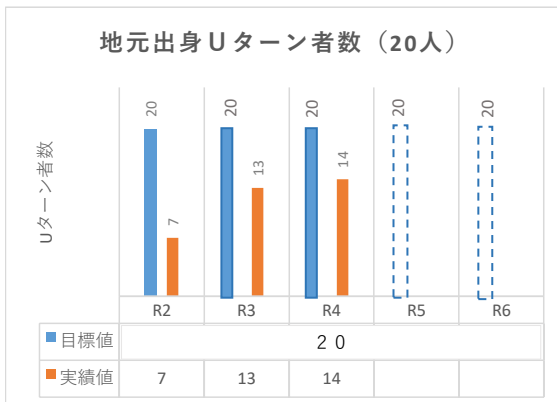
継続

【担当課 総務課】

番号 15

成果・実績等

目標達成



令和4年度におけるUターン者（町民であった
者が、町外に転出後5年を経過した後に、再び
住民登録を行った者）数は14名にのぼった。
なお、地元出身者ではないものの、一度蘭越
町に住んだ後に町外に転出、その後再度、蘭越
町に戻ってきた方は24名であった。
移住者だけでなく、Uターン者も利用できる補
助金制度も継続して実施した。

達成

次年度以降

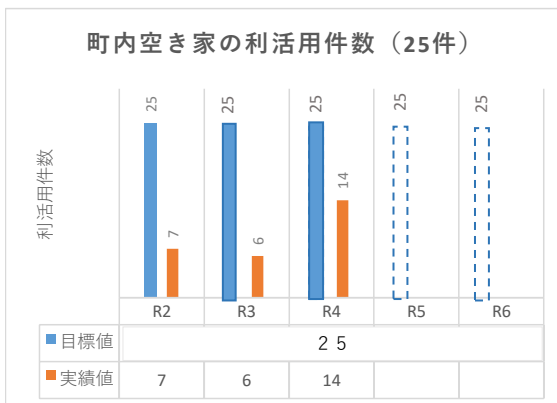
継続

【担当課 総務課】

番号 16

成果・実績等

目標達成



移住希望者等の受け皿として、増加する空き
家の利活用を促進する事業を実施。
令和4年度は、18件の新規登録があり、1
4件の成約があった。
また、町内に所在する空家の調査について
も、継続して実施し、状況の把握に努めた。

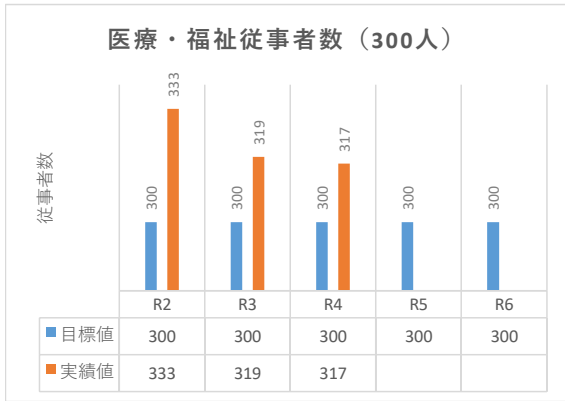
達成

次年度以降

継続

【担当課 総務課】

番号 17



成果・実績等

医療・福祉従事者の確保のための直接的な事業は実施していないものの、町内住宅の提供・斡旋を実施した。
特に単身者住宅については、一灯園や愛星学園の職員が入居しており、職員の確保に一定の効果을挙げている。

【担当課 総務課】

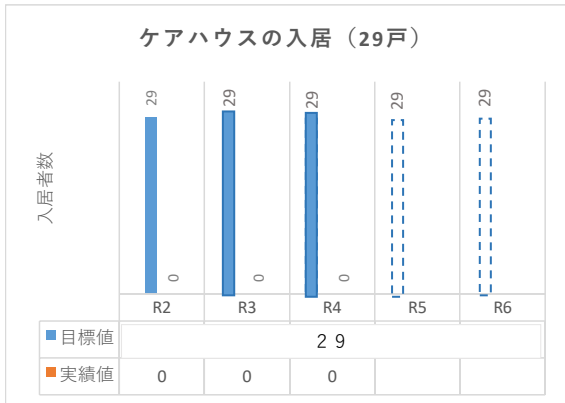
目標達成

達成

次年度以降

継続

番号 18



成果・実績等

計画変更

【担当課 健康推進課】

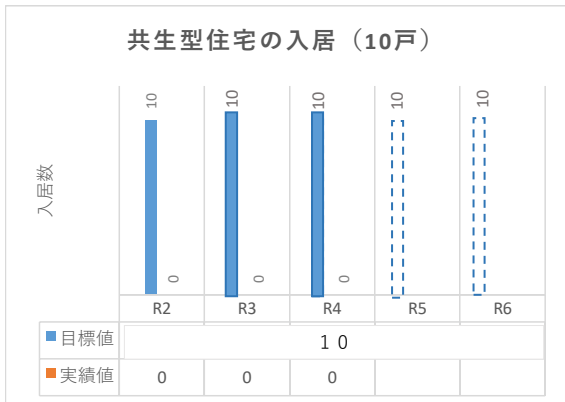
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号19



成果・実績等

計画変更

【担当課 健康推進課】

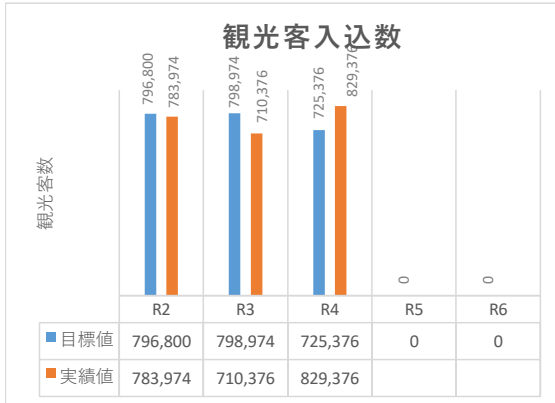
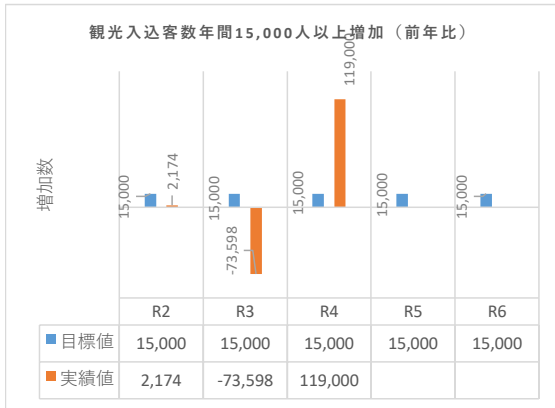
目標達成

未達成

次年度以降

継続

番号20



成果・実績等

ニセコエリアガイドへの掲載、地域人材育成支援としてウィンタースタッフ研修用動画の制作、配信を行った。

また、ニセコ山系観光連絡協議会で、登山道整備用の案内看板を制作した。

【担当課 商工労働観光課】

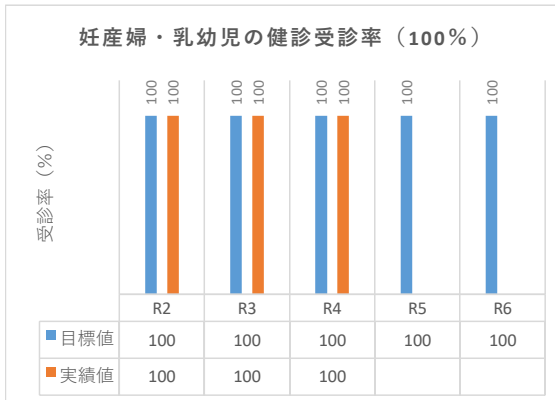
目標達成

達成

次年度以降

継続

番号21



成果・実績等

なし

【担当課 健康推進課】

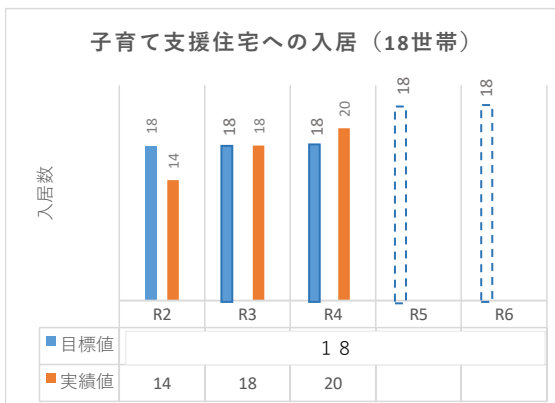
目標達成

達成

次年度以降

継続

番号22



成果・実績等

原油高や建設資材の不足により建設費が増大しているため、昆布子育て支援住宅2号棟（1棟6戸）の建設を保留している。

他方、提案型買取事業により整備した定住促進住宅（入居対象者は、子育て世帯又は40歳未満の夫婦世帯）は、4棟8戸すべての住宅が埋まっている状況である。

【担当課 建設課】

目標達成

達成

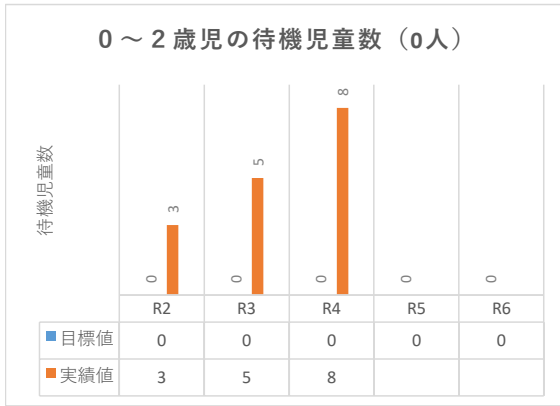
次年度以降

継続

番号23

成果・実績等

目標達成



子育て支援短時間利用事業の利用料金を一時保育の料金と同程度に引き下げたことで、割高感のない利用しやすい事業となり、多くの利用者が引き続き登録及び利用している。

また、家庭的保育事業所の開設に係る支援（平成28年実施、平成29年開所）を実施し、平成29年8月から常時定員を満たしている。

さらに、待機児童支援助成事業を開始し、児童の預け先が確保されている（子育て支援短時間利用事業）ことから、児童の預け先がないことにより保護者が復職等でいかなかったケースはなかった。

【担当課 住民福祉課】

未達成

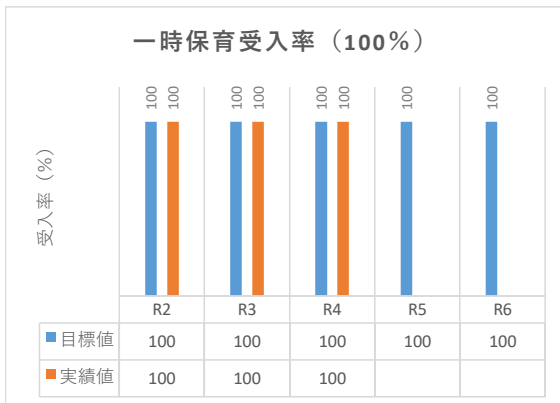
次年度以降

継続

番号24

成果・実績等

目標達成



子育て支援短時間利用事業の利用料金を引き下げたことで、当該事業を利用する保護者が増えた。

また、北海愛星学園に委託する子育て支援短時間利用事業は、土日の受け入れが可能のため、休日に就業する保護者等に対する子育て支援が来ている。

さらに、昆布保育所での一時保育利用状況は、H29年度0名、H30年度2名、R1年度1名、R2年度2名、R3年度2名、R4年度2名となっている。

【担当課 住民福祉課】

達成

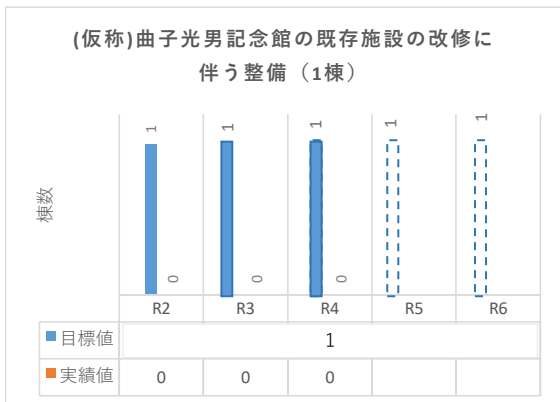
次年度以降

継続

番号25

成果・実績等

目標達成



令和4年4月1日に山村開発センター改修検討委員会設置規則を定めた後、外部検討委員会を4回開催。

- 1回目 → 施設基礎資料の配布
- 2回目 → 改修内容の協議
- 3回目 → 改修内容の協議
- 4回目 → 答申内容の精査

令和4年11月11日には、改修に関し、「山村開発センター大ホールステージの反対側に展示スペースを設け、絵画をピックアップで取り付けられるようにする。」、「現「調理室」を「収蔵庫」とする。」、「エアコンを設置するか、再生可能エネルギー利用を検討する。」旨の内容で答申した。

未達成

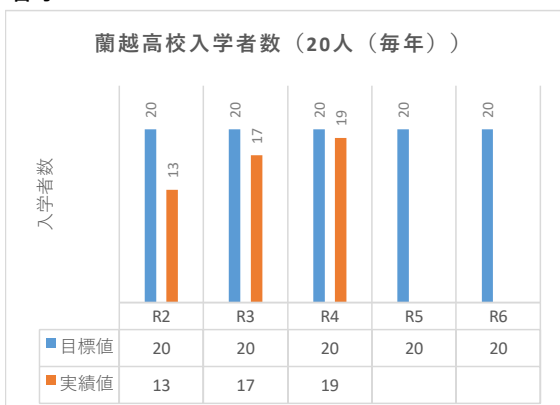
次年度以降

継続

番号26

成果・実績等

目標達成



蘭越高等学校教育支援事業（教科書購入費補助、J・R・バス通学費用補助、各種検定等受験費用補助、大学・看護模試費用補助、制服補助、下宿、パンフレット・チラシ作成補助）を実施。

また、高校の英語の先生が中学校の英語授業に乗り入れし、高校の先生を知る機会を得て、入学者増に効果があった。

【担当課 教育委員会】

未達成

次年度以降

継続